

注1) 累積発生日数はいずれかの水域で発生した日数  
 注2) 延べ水域は複数日にわたり発生した場合それぞれを1水域とする

【図3-10 アオコの発生状況】

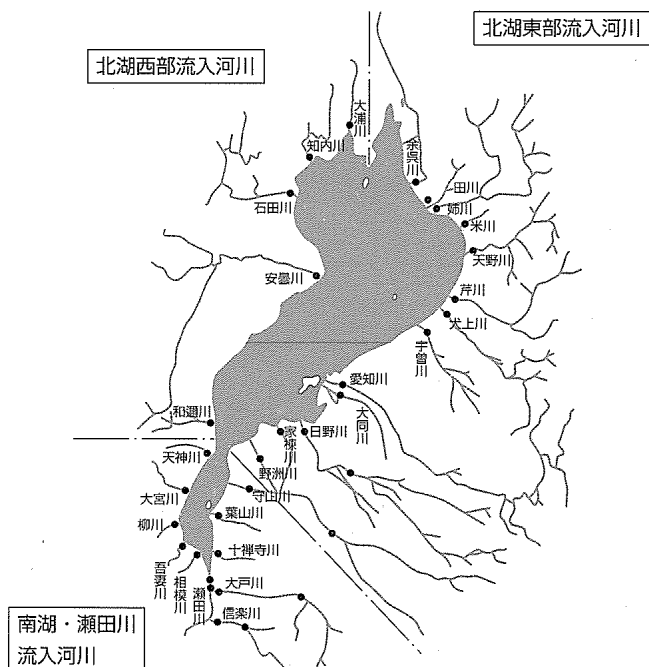
滋賀県環境白書より作成  
 詳細は資料3-3を参照

(3) 琵琶湖流入河川

南湖流入河川は汚濁が進んでいたが、昭和60年度頃までにかかなり改善された。これは下水処理場の整備や石けんの使用推進を図った結果といえる。その後水質は横ばい状態が続いており、平成18年度のBODは0.98mg/l、全窒素は1.07mg/l、全りんは0.049mg/lであった。

北湖東部および北湖西部流入河川の水質は比較的良好で、安定している。

琵琶湖に流入する滋賀県内の主要河川のBODにおいては、瀬田川を含む25河川29地点のうち、24河川28地点で環境基準を達成しており、南湖瀬田川流入河川の相模川でのみ環境基準を上回っている。



【図3-11 琵琶湖の流入河川】

出典：滋賀県「滋賀の環境2007」